

SAKIDORI FRANCE 2016

～フランスの最新情報をいち早くお届けするフランスワークショップ～

目次

パリ=イル・ド・フランス地方

イル・ド・フランス地方観光局 PARIS REGION TOURIST BOARD	3
パリ観光会議局 PARIS CONVENTION AND VISITORS BUREAU	4
フランス国立モニュメントセンター FRENCH NATIONAL MONUMENTS	5
パリ空港公団 PARIS AÉROPORT	6
ホテル・レジナー・パリ HOTEL REGINA PARIS	7

オーヴェルニュ=ローヌ・アルプ地方

オーヴェルニュ=ローヌ・アルプ地方観光局 AUVERGNE RHÔNE ALPES REGION	8
メルキュール・リヨン・サントル・シャトー・ペラーシュ MERCURE LYON CENTRE CHÂTEAU PERRACHE	9

プロヴァンス=アルプ=コート・ダジュール地方

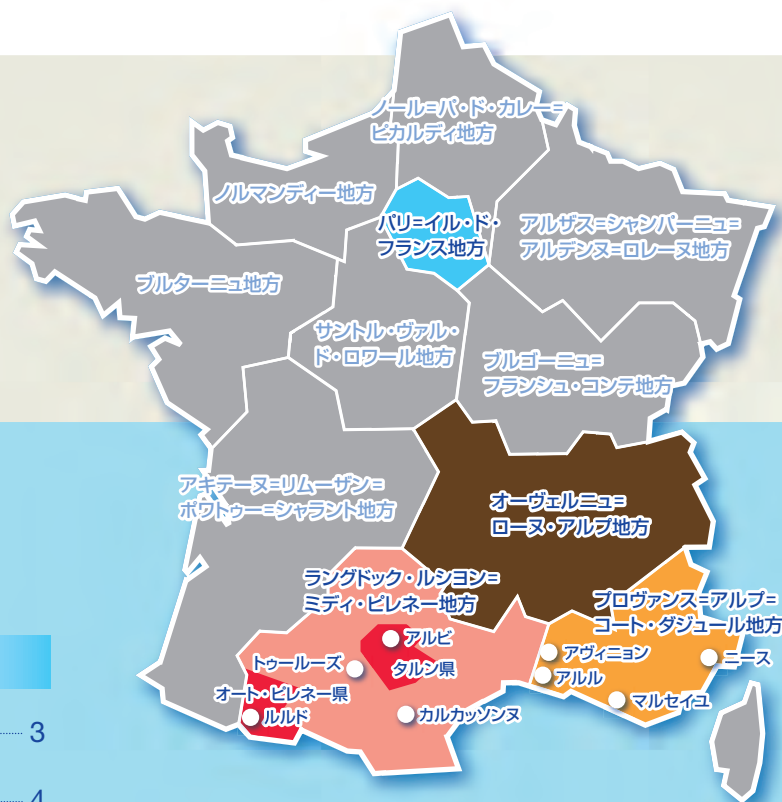
アヴィニオン観光局 AVIGNON TOURISM	10
ニース観光会議局 NICE CONVENTION AND VISITORS BUREAU	11
ホテル・エリントン****, ニース HOTEL ELLINGTON****, NICE	12
マルセイユ観光会議局 MARSEILLE TOURIST OFFICE & CONVENTION BUREAU	13
アルル観光局 ARLES CAMARGUE	14

ラングドック・ルシヨン=ミディ・ピレネー地方

ミディ・ピレネー地方観光局 MIDI PYRÉNÉES TOURIST BOARD	15
トゥールーズ観光局 SO TOULOUSE OFFICE DE TOURISME	16
トゥールーズ・ブラニャック空港 TOULOUSE BLAGNAC AIRPORT	17
アルビおよびタルン県観光局 ALBI TARN TOURIST BOARD	18
カルカッソンヌ観光局 CARCASSONNE	19
オート・ピレネー県観光局 HAUTES-PYRÉNÉES TOURISME	20
ルルド観光局 TOURIST OFFICE OF LOURDES	21

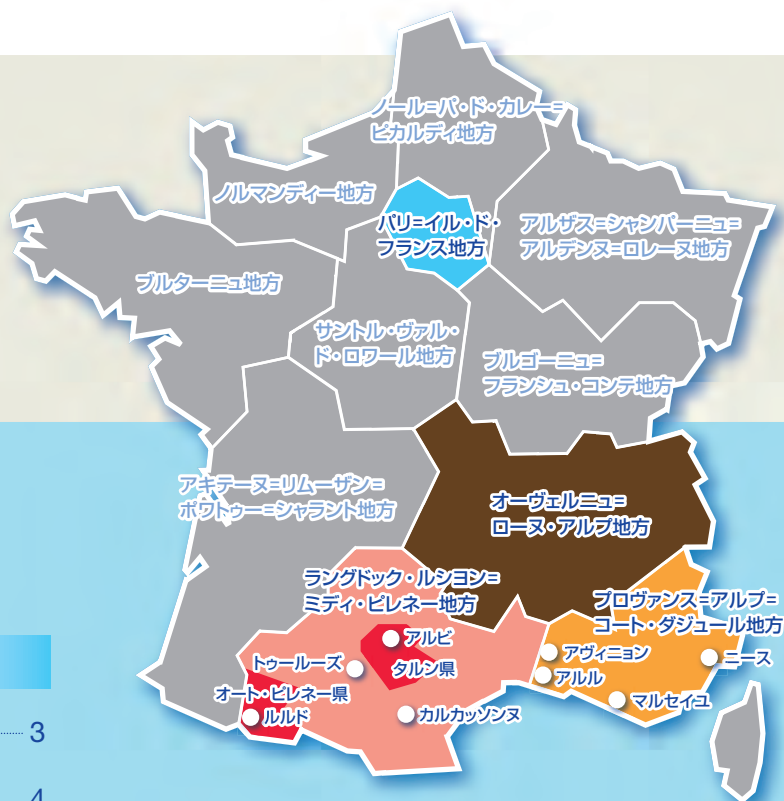
フランス全土

アコーホテルズ ACCORHOTELS	22
レイルヨーロッパ RAIL EUROPE JAPAN	23
エールフランス航空 AIR FRANCE	24



SOMMAIRE

目次



パリ=イル・ド・フランス地方

イル・ド・フランス地方観光局 PARIS REGION TOURIST BOARD	3
パリ観光会議局 PARIS CONVENTION AND VISITORS BUREAU	4
フランス国立モニュメントセンター FRENCH NATIONAL MONUMENTS	5
パリ空港公団 PARIS AÉROPORT	6
ホテル・レジーナ・パリ HOTEL REGINA PARIS	7

オーヴェルニュ=ローヌ=アルプ地方

オーヴェルニュ=ローヌ=アルプ地方観光局 AUVERGNE RHÔNE ALPES REGION	8
メルキュール・リヨン・サントル・シャトー・ペラーシュ MERCURE LYON CENTRE CHÂTEAU PERRACHE	9

プロヴァンス=アルプ=コート=ダジュール地方

アヴィニオン観光局 AVIGNON TOURISM	10
ニース観光会議局 NICE CONVENTION AND VISITORS BUREAU	11
ホテル・エリントン****, ニース HOTEL ELLINGTON****, NICE	12
マルセイユ観光会議局 MARSEILLE TOURIST OFFICE & CONVENTION BUREAU	13
アルル観光局 ARLES CAMARGUE	14

ラングドック=ルシヨン=ミディ=ピレネー地方

ミディ=ピレネー地方観光局 MIDI PYRÉNÉES TOURIST BOARD	15
トゥールーズ観光局 SO TOULOUSE OFFICE DE TOURISME	16
トゥールーズ=ブラニャック空港 TOULOUSE BLAGNAC AIRPORT	17
アルビおよびタルン県観光局 ALBI TARN TOURIST BOARD	18
カルカッソンヌ観光局 CARCASSONNE	19
オート=ピレネー県観光局 HAUTES-PYRÉNÉES TOURISME	20
ルルド観光局 TOURIST OFFICE OF LOURDES	21

フランス全土

アコーホテルズ ACCORHOTELS	22
レイルヨーロッパ RAIL EUROPE JAPAN	23
エールフランス航空 AIR FRANCE	24

SOMMAIRE



観光局

PARIS
REGION
TOURIST BOARD



PARIS REGION TOURIST BOARD

イル・ド・フランス地方観光局

出展者紹介

イル・ド・フランス地方観光局は、観光業者や観光客向けにサービスを提供するこの地方最大のオペレーターであり、パリとイル・ド・フランス地方の観光開発と広報活動を行っています。イル・ド・フランス地方の観光業界のプロフェッショナル向けに、質が高く、革新的で、ニーズに合った商品の開発・提供のお手伝いをし、人材やツールやネットワークを提供しています。

プロモーション・ビジネス客担当部門のスタッフは、パリとイル・ド・フランス地方の観光業者と御社のビジネス関係のさらなる発展と売り上げ強化のための最良のパートナーです。

プロフェッショナル向けの新しいサイトで、2016年と2017年のイル・ド・フランス地方観光局の主なサービスと最新情報をご覧ください。

<http://pro.visitparisregion.com/en/>

御社のコース設定やお客様のニーズに合った商品の提供に役立つ500件以上のすぐに商品化可能なオファーが掲載されています。また、イル・ド・フランス地方で開催される主な展覧会やイベントの詳細も、いち早くご紹介しています。

観光客の受け入れサービスの質の良し悪しは、パリ地方に到着した時に決まります。そのため、イル・ド・フランス地方観光局では、空港やヴェルサイユ、ディズニー・ランド、ギャラリー・ラファイエットなど11か所に観光案内所を設け、情報やアドバイスのほか、1人1人の観光客のニーズにあった多彩なサービスを提供しています。



photos▼

写真上：©J. Sierpinski / CRT Paris Ile-de-France

① ©Alfred / Sipa / CRT Paris Ile-de-France

② ©Guidatours

③ ©Jarry-Tripelon / CRT Paris Ile-de-France

プレス用取材のアイデア

■ プレス問い合わせ ■

Catherine BARNOUIN

カトリーヌ・バルヌワン

広報・イベントマネージャー

cbarnouin@visitparisregion.com

パリ地方は、常に変化しています。

« Experience your new Paris » : 芸術、ショッピング、グルメ、散策、都市文化、ナイト・ライフ、お祭り、絶えず新しく生まれ変わるパリとイル・ド・フランス地方では、様々なことが体験できます。

<http://pro.visitparisregion.com/en/Tools-and-press/Press/Press-kit/Press-kit-Experience-your-new-Paris>

新たなパリの多彩な側面を発見し、最新のトレンドを体験しましょう。

バルビゾン派の風景画家たちから、オルセー美術館、イエール、シャトゥー、そしてオーヴェル・シュール・オー



ルのヴァン・ゴッホの墓まで、パリとイル・ド・フランス地方で印象派の画家の足跡をたどりましょう。

<http://pro.visitparisregion.com/en/Tools-and-press/Press/Press-kit/In-the-footsteps-of-Van-Gogh-Press-kit-2015>

■ お問い合わせ ■

PARIS REGION TOURIST BOARD

11, rue du faubourg Poissonnière - 75009 Paris

Tel : +33(1) 73 00 77 00

promotion@visitparisregion.com

<http://pro.visitparisregion.com/>

<http://pro.visitparisregion.com/en/> (英語)

■ 来日者 ■

François NAVARRO フランソワ・ナヴァロ

局長

fnavarro@visitparisregion.com



■ 担当者 ■

Sylvie LEGARS シルヴィー・ルガル

プロモーションマネージャー

Tel : +33(0) 1 73 00 77 74

slegars@visitparisregion.com





観光局

PARIS CONVENTION AND VISITORS BUREAU パリ観光会議局



出展者紹介

ただ驚くばかりの2016年のパリ!

2015年、世界中から推定4600万人がパリとその周辺地域を訪れました。そのうち48%が国外から、そして48万1359人(ホテル宿泊ベース)が日本からのお客様でした。

ヨーロッパに行ったら絶対に行くところ。ホテルの客室総数はすべてのカテゴリーを含めて15万1千室以上。180を超すミュージアムとモニュメント。免税で魅力も倍増のショッピング・パラダイス: 1万7500のショップと4つのデパートはどこもパーソナライズされたおもてなし。

パリは年間を通して話題に事欠かないロマンチックな都市: 300ものイベント、祝賀行事、エキシビジョン、新しい文化スペースのオープニング、より大きなキャパシティと多様性を誇るホテル、価格帯も様々で選択肢が豊富なレストラン。パリはこれまでもこれからも、ファッション、ラグジュアリー、幸せ…の首都です。そして忘れてはいけないのがショッピング。冬(1月)と夏(7月)に

開催のセールは有名ですが、7つのツーリストエリアと新しいショッピングモールやアウトレットは日曜日もお店が開いています。

パリ観光会議局はレジャーとビジネス両面でパリをプロモーションするキーコンタクトです。旅行代理店およびツアーオペレーターの皆さまに、パリでもっとも優秀な観光プロフェッショナルをご紹介します。また、デスティネーションとしてのパリの知識理解を増していただけるよう、常にアップデートされる情報ソースを無料でご提供しています: 多国語対応の魅力あるウェブサイト、フォトライブラリーには4000枚を超えるパリの写真、高解像度・著作権フリー写真のダウンロード、プレスと旅行業界の皆さまに2か月ごとに配信のe-newsletter、プレス資料、デスティネーション紹介のプレゼンテーション、様々なガイドブックなど。

パリのツーリズムにかかわる全プロフェッショナルたちとともに、パリのプロモーションをサポートし、また皆さまの顧客ひとりひとりのリクエストにもお応えできるようお手伝いさせていただきます。



photos▼

写真上: Canopée Les Halles ©Sophie Robichon / Mairie de Paris

① Accor Pullman ©Jacques Yves Gucia

② ©Sarah Sergent / Paris Tourist Office

③ ©Amélie Dupont / Paris Tourist Office

プレス用取材のアイデア

■ プレス問い合わせ ■

Véronique POTELET ANT
ペロニック・ポテレアンティ
メディア&PR
vpotelet@parisinfo.com
Tel: +33(0)1 49 52 53 27

■ イベントの生まれる街パリ

パリでは一年を通じて、あらゆる領域にわたるイベントが毎日300近く開催されています。最も人気が高いイベントに挙げられるのが音楽の日Fête de la Musiqueや美術館の夜la Nuit des musées。セーヌ河岸をビーチに変えてしまう夏のイベントパリ・プラーージュ Paris-Plagesや市内各地に夜通し多くの芸術作品が展示されるラ・ヌイ・ブランシュ la Nuit Blanche、あるいは街全体が光り輝くクリスマスのイルミネーションles illuminations de Noëlも見逃せません。2016年には多くの特別展も企画されています。巨匠やクラシックなものとしてはルーブル美術館 musée du Louvre での「ユベール・

ロベールとブシャルドン Hubert Robert et Bouchardon」展、オルセー美術館 musée d'Orsay の「税関吏(アンリ)ルソー Le Douanier Rousseau」展、はたまたジャックマール・アンドレ美術館 musée Jacquemart

Andréでは「レンブラントRembrandt」展、それに先立つ上半期にはノルマンディーの野外画家たち(モネ、ルノワール、ピサロ…)に捧げる展覧会も。ファッション好きには装飾美術館musée des Arts décoratifsの「モードの3世紀Trois siècles de mode」展や「バービー人形Barbie」展もあります! 美術館、ギャラリー、モニュメント、デザイナーホテル、お洒落なバーや栄光高い賞を獲得しているレストラン等、パリは今までに以上に注目を浴びるキャピタルシティです。



■ お問い合わせ ■

PARIS CONVENTION AND VISITORS BUREAU

25, rue des Pyramides - 75001 Paris

www.parisinfo.com

http://ja.parisinfo.com/(日本語)

http://convention.parisinfo.com/travel-trade(旅行業界用サイト)

■ 担当者 ■

Patricia BARTHÉLEMY
パトリシア・バルテレミー

Marketing Department
Head of Business Development
International Leisure Markets

Tel: +33(0)1 49 52 42 60

pbarthelémy@parisinfo.com





公共機関

PARIS
REGION
TOURIST BUREAU



PARIS
Convention
and Visitors Bureau

CENTRE DES
MONUMENTS NATIONAUX

FRENCH NATIONAL MONUMENTS

フランス国立モニュメントセンター

出展者紹介

フランス国立モニュメントセンターは、国内で一般公開されている歴史的建造物および史跡を管理する主要機関です。

100か所にも及ぶ管轄モニュメントには、ほんの一例ですが モン・サン・ミッシェル修道院、アンジェ城、アゼ・ル・リドー城、パリの凱旋門やサント・シャペルなど名高い史跡も含まれています。

フランスのみならず世界中から年間920万人を超える来場者をお迎えしており、さらに王道のルート以外にも、ロワールの谷を見下ろすシャトーダン城、シェヌ・デ・ピュイ火山群に対峙するオルトリブ城、ロット県の中心にあるモンタル城、モールの森に囲まれたル・トロネ修道院…など、まだまだ知られていないすばらしい出会いが隠されています。

何世紀もの過去を物語る優れた史跡の中には、カルカッソンのシテ（要塞都市、城、城壁）、トー宮殿、ラ・ソー

ヴ＝マジェール大修道院、コンパレル洞窟など、ユネスコ世界遺産に登録されているものも含まれています。

ヴェゼール渓谷の先史時代史跡群と洞窟壁画群からル・コルビュジェのサヴォア邸まで、民間のものであったり軍事的なものであったり、もちろん宗教的なものも含め、すべての時代のすべてのタイプの建築が網羅されています。

フランス国立モニュメントセンターのミッションはこうした文化遺産を維持活用し、より多くの来場者をお迎えし、おもてなしのクオリティ向上に努めることです。年間400近いイベントを通して、文化的関心を高めたり、観光開発の促進となるようサポートしています。

旅行業界の皆さまには、ご希望のモニュメントの割引料金や前売り券、さらにはオンラインでご購入いただけるEチケット・システムをご活用いただけます。また団体を対象に解説つきパッケージ料金のご提案もさせていただきます。



photos▼

写真上：サント・シャペル ©D.Bordes / CMN Paris

① 凱旋門 ©J.-M. Charles / CMN Paris

② サヴォア邸 ©J.-C. Ballot / CMN Paris

③ モン・サン・ミッシェル ©P. Berth / CMN Paris

プレス用取材のアイデア

■ プレス問い合わせ ■

William ROUSSEL

ウィリアム・ルッセル

国際観光振興マネージャー

william.rousseau@monuments-nationaux.fr

国立モニュメントセンターが実施する夏のイベントから、特に夜間開催のものをお勧めします。シャンゼリゼ通りあたりでディナーを楽しんだ後、凱旋門のテラスに登れば、まさに世界でもっとも美しい都市に沈む、世界で最も美しい夕日を楽しむことができます。

夜のモン・サン・ミッシェルでは島を囲む湾の自



然の力をテーマにした音と映像の世界を満喫できます。光に満ちた島の一味も二味も違うワクワク体験です。

■ お問い合わせ ■

FRENCH NATIONAL MONUMENTS

Hôtel de Sully

62, rue Saint Antoine – 75186 PARIS Cedex 04

<https://tourisme.monuments-nationaux.fr>

■ 担当者 ■

William ROUSSEL

ウィリアム・ルッセル

国際観光振興マネージャー

Tel : +33(0)44 61 20 83

william.rousseau@monuments-nationaux.fr





空港

PARIS AÉROPORT パリ空港公団

PARIS
REGION
Tourist Office



PARIS
Convention
and Visitors Bureau



出展者紹介

シャルル・ド・ゴール空港、オルリー空港、そしてル・ブルジェ空港の3つの空港の開発と管理を行っているのがパリ空港公団です。公団では、立地に恵まれたこれら3つの空港のターミナルの近代化やサービスの向上に努めています。

モード、アクセサリ、ジュエリー、時計、コスメ用品、グルメなど、空港には280もの店舗が出店。毎日朝一番のフライトから最終便までオープンしており、1ユーロの買い物から免税でショッピングが楽しめます。もちろん、レストランやバーも充実しています。

空港でお求めいただけるのは、ボッテガ・ヴェネタ、バーバリー、シャネル、ディオール、フェンディ、グッチ、エルメス、ロンシャン、ミュウミュウ、プラダ、フェラガモなど、フランス国内外の世界に名だたるブランドの製品。コスメ売り場に並ぶのは、シャネル、ディオール、エスティ・ローダー、エルメス、ロクシタン、ランコム、イヴ・サンローランといった厳選されたブランド。マストアイテムを見つけてください。

ブルガリ、カルティエ、ショパール、ウブロ、ジャガー・

ルクルト、オメガ、ロレックスなど高級時計ブランドも揃います。

ポコ、キャビアハウス・アンド・ブルニエ・シーフードバー、フォション、フレンチーズ、アイ・ラブ・パリなど、130軒あるバーやレストランで寛ぐのもよいでしょう。アンジェリーナやラデュレ、メゾン・デュ・ショコラ、マリアージュ・フレールのスイーツもお忘れなく!

もちろんワインをはじめとするアルコール類も充実しています。シャトー・ラフィット・ロートシルト、シャトー・ラトゥール、シーバス、ドン・ペリニオン、ヘネシー、ルイ・ロデレール、モエ・エ・シャンドン、レミーマルタン、ロマネ・コンティなどが揃います。

パリ空港公団がご用意するのはパリのエッセンス……それも免税価格で!

■旅行代理店の皆様へ

パリ空港では旅行代理店の皆様に、特別なツアーや特典をご用意しております。詳しくはパリ空港公団のブースにお越しいただくか、下記にお問い合わせください。



photos▼

写真上: ©Paris Aéroport ① ギャ・マルタンのレストラン、アイ・ラブ・パリ (CDG 空港ターミナル 2E-L) ©Paris Aéroport
② ラデュレ・レストラン (CDG 空港ターミナル 2F) ©Paris Aéroport
③ 美術館「エスバス・ミュゼ (Espaces Musées)」©Paris Aéroport

プレス用取材のアイデア

■ プレス問い合わせ ■

Jérôme LANDRAS
ジェローム・ランドラ
プレス担当
jerome.landras@adp.fr

- 2016年6月下旬、シャルル・ド・ゴール空港に新たなラウンジ「インスタント・パリ」が登場します。80室を備えるホテルを併設し、宿泊としてだけでなく、休憩（最短4時間）としても利用可能で、マッサージルームや図書スペース、子供用プレイルームなどがあり、市内まで行かず空港内で宿泊したい方はもちろん、乗り継ぎによる疲れを取りたい方にもおすすめです。
- 無料Wi-FiとUSB接続を搭載した空港への直通バスサービスが始まります（2016年半ばより）。このバスは市内の有名観光スポット（エッフェル塔、凱旋門など）を巡り空港に到着します。チケットの購入は日

本語対応のウェブサイト (パソコン、スマートフォン、タブレット) から可能。
URL: <http://lebusdirect.com/> (2016年半ばより)

- パリ空港ではさまざまな美術館と提携して6ヶ月ごとにオリジナルの展覧会を企画しています。現在は、セヴル陶芸都市にある国立陶磁器美術館から厳選された美術品の数々を展示。2016年12月31日まで。(場所: シャルル・ド・ゴール空港のターミナル2E ホールM)



■ お問い合わせ ■

PARIS AÉROPORT

291, Boulevard Raspail - 75675 Paris
Tel : +33 (0) 1 43 35 71 93
<http://int.parisaeroport.fr/ja/> (日本語ページ)

■ 来日者 ■

Cécile MARCHAND-CASSAGNE
セシル・マルシャン=カッサニー
グローバル新規顧客開拓部 部長
Cecile.Marchand-Cassagne@adp.fr



■ 担当者 ■

Hisae KAWASAKI 川崎 久恵
コンサルタント
Tel : 03 6407 9047 Fax : 03 6407 9048
h.ando@rcs-advertising.com



Joseph GUMMER ジョーセフ・ガマー
コンサルタント
Tel : 03 6407 9047 Fax : 03 6407 9048
j.gummer@rcs-advertising.com





ホテル

HOTEL REGINA PARIS

ホテル・レジナ・パリ

PARIS
REGION
TOURIST BOARD



PARIS
Convention
and Visitors Bureau



REGINA

PARIS

出展者紹介

パリの中心、ルーヴル美術館やチュイルリー公園の向かい側にホテル・レジナ・パリがあります。オペラ座にも近く、フランス文化やファッションをまさに肌で感じられる好立地のホテルです。

ホテル・レジナは、パリ万国博覧会が開催された1900年、第二帝政時代の建物内に開業しました。32室のスイートを含む全99室の5つ星ホテルで、2015年に全面改装されています。すべての客室にバス・バスルームがあり、ベッドはダブルまたはツイン仕様です。客室によっては窓からチュイルリー公園やエッフェル塔の素晴らしい眺望を楽しむことができます。

英国スタイルのバー、新しく加わったワイン・バー、フランス料理レストラン、そして中庭テラスはパリの中心にあって安らぎのひと時を提供しています。

レジナはプリファードホテルズ&リゾーツLVXコレクションのメンバーです。

ホテル・レジナは4世代にわたって同じフランス人ファミリーによって受け継がれてきました。現在はフランソワーズ・バヴレと娘のヴェロニク・ヴァルクが経営しています。レ・ゾテル・バヴレの名のもとに5つ星ホテルを他に2軒所有、いずれもパリ16区にあります。

●ル・マジェスティック・ホテル&スパ。やはりプリファードホテルズ&リゾーツLVXコレクションのメンバーで、2010年に全面改装しました。シャンゼリゼや凱旋門に近いクラシック・コンテンポラリー・スタイルのブティックホテルで、客室数は48室。うちアパルトマンのカテゴリーにはミニキッチンつきもあります。広さ480㎡のスパは宿泊客専用で、屋内プール、フィットネス、サウナ、ハمام、エステサロンをゆっくりご利用いただけます。

●ホテル・ラファエルはザ・リーディング・ホテルズ・オブ・ザ・ワールドのメンバーです。シャンゼリゼと凱旋門からも近い理想的な立地を誇り、スイートを含む全83室は、それぞれに異なる伝統的内装がほどこされ、くつろぎのプライベート空間を提供しています。ビジネスマンをはじめ、政治家、著名芸術家や文学者など、ゲストの皆さまに高評価をいただいています。また7階にあるレストラン、英国式バー、テラスからはパリ市内を360°望むパノラマをお楽しみいただけます。



photos▼

写真上：ジュニア・スイート・エッフェル

① プレステージ ② デラックスツイン

③ ジュニア・スイート・エッフェル

写真のクレジット すべて ©SA Les Hotels Baverez

プレス用取材のアイデア

■ プレス問い合わせ ■

Cristiano MORELLI

クリスチアーノ・モレリ

コマーシャル&マーケティング・ディレクター

cristiano.morelli@hotels-baverez.com

2015年夏、ホテル・レジナは2年間の改装期間を経てその新たな内装をお披露目、よりコンテンポラリーでありながら本物志向も維持されている、まったく新しい環境にゲストを迎えています。スイートを含む99室は、手入れの行き届いた古き良き家具でエレガントな雰囲気、客室内の快適はエアコンと防音の大改装によって、最大限に確保されています。特に防音は特筆に値するもので、Quiet Hotel Room®のラベルを獲得すると同時に、コンテナスト・トラベラーでは「世界のもっとも静かなホテル」として紹介されています。

また200年に及ぶ歴史を誇るネゴシアン、メゾン・ドゥ



ルトとのコラボレーションでワインバーをオープンしました。バーのコンセプトはモダンと洗練。ワイン愛好家のお客様にはすべての感覚を研ぎ澄ませて存分に試飲を楽しんでいただき、また同時に生まれ変わったホテルの魅力を実感していただけます。

■ お問い合わせ ■

HOTEL REGINA PARIS

2, place des Pyramides - 75001 Paris

Tel : +33 (0) 1 42 60 31 10

Fax : +33 (0) 1 40 15 95 16

reservation@regina-hotel.com

www.regina-hotel.com

■ 担当者 ■

Cristiano MORELLI

クリスチアーノ・モレリ

コマーシャル&マーケティング・ディレクター

Tel : +33 (0) 6 37 08 65 42

cristiano.morelli@hotels-baverez.com





TOURISME
AUVERGNE RHÔNE-ALPES
FRANCE

観光局

AUVERGNE RHÔNE ALPES REGION

オーヴェルニュ＝ローヌ・アルプ地方観光局

出展者紹介

国立自然公園が2か所、地方自然公園が9か所、アルプスと火山の湖水、大河ローヌと多くの川が絶景の間を縫って流れる…オーヴェルニュ＝ローヌ・アルプ地方へようこそ！

ここならサイクリングやハイキングのルートには事欠きません。アルプスの最高峰モン・ブラン(4,810m)からピュイ火山帯の火口まで、南仏プロヴァンス地方と境を接するドローーム県のラベンダー畑、フランス最大の湖の数々(レマン湖、アヌシー湖、ル・ブルジェ湖)、そして名高いワイン産地のコート・デュ・ローヌやボージョレ…と変化に富んだ美しい風景がいたるところに広がっています。シャモニーはモン・ブラン観光の絶好の拠点です。ロープウェイでエグイユ・デュ・ミディまで登ればアルプス山脈の全貌を望むことができます。温泉保養地エヴィアンではレマン湖やアヌシー湖周辺で、休息とリフレッシュのひとときを。一方オーヴェルニュでは、ピュイ・ド・ドーム山(1,465m)からピュイ山脈の80座の火山を一望できます。ヨーロッパ随一のこの風景は自然保護区域になっています。

山の放牧地、果樹園、ブドウ畑…これら豊穡の地を見れば、当地の中心都市リヨンが美食の都と称賛されるのも

納得です。地方内にはポール・ボキューズ、ミッシェル・トロワグロ、エマニュエル・ルノー、アンヌ＝ソフィー・ピック、レジス&ジャック・マルコンなどミシュランの星を持つシェフたちも勢揃いしています。彼らの店で食事をする美食家たちは、コート・デュ・ローヌ、ボージョレ、コート・ド・ヴェルニュ、サヴォワなどのワインからどれを選ぶか大いに頭を悩ますことでしょう。ミネラルウォーターもエヴィアン、ヴィシー、バドワ、シャテルドン、ヴォルヴィックなどが揃っています。

オーヴェルニュ＝ローヌ・アルプ地方には歴史好き、建築好きな方たちに堪能いただけるものも多数あります。ボン・ダルク洞窟(ユネスコ世界遺産)に描かれた数万年前のフレスコ画、リヨンの超未来的なコンフリュアンス美術館、地方内に22ある「フランスの最も美しい村々」など。ここでは古代遺跡、バロックやロマネスクの教会、多くの古城やピュイ・アン・ヴレーから始まるサンティアゴ・デ・コンポステラへの巡礼路など歴史探訪の素材があふれています。名所旧跡だけでなく工芸刃物類、ミシュランタイヤミュージアム Adventure Michelin、映画を発明したリュミエール兄弟なども歴史への興味深いアプローチとなるでしょう。



photos▼
写真上：©M.Perrin / OT Lyon
① ©CRDT Auvergne / OLIVIER Luc
② ©Y. Tisseyre OTVA
③ Rhone Alpes Tourisme ©S. Maviel

プレス用取材のアイデア

■ プレス問い合わせ ■

Rachel GREGORIS
ラシェル・グレゴリス
海外マーケットマネージャー
rachel.gregoris@rhonealpes-tourisme.com

■ こちらもお忘れなく！

- シラ国際外食産業見本市(SIRHA = Salon International de la Restauration, de l'Hôtellerie et de l'Alimentation) リヨンで今回は2017年1月開催。同時にポール・ボキューズの少人数グループ(10名以下)向け新商品発表(料理・お菓子作り講習会、シェフの引率で市場めぐり、高級料理のディナーを含む www.institutpaulbocuse.com)

● オーヴェルニュ＝ローヌ・アルプ地方はフランス最大の原産地統制名称(AOC)チーズ産地です。フランスに46あるAOCチーズの21銘柄と実に2つの1つがこの地方で生産されたものです。例を挙げればブルボン、ボーフォール、アボンダンス、カンタル、ブルー・ド・ヴェルニュ、サン・ネクター、リゴット・ド・コンドリウー、ピコドン、フルム・ド・モンブリゾンなど。



■ お問い合わせ ■

RHÔNE ALPES TOURISME

8, rue Paul Montrochet, Immeuble EOLIS-69002 Lyon
Tel: +33(0)4 26 73 31 59 Fax: +33(0)4 26 73 31 60
bienvenue@rhonealpes-tourisme.com
www.auvergnerhonealpes-tourisme.com
www.inrhonealpes.com(英語)
www.traveltrade-auvergne.com(英語)

■ 担当者 ■

Rachel GREGORIS
ラシェル・グレゴリス
海外マーケットマネージャー
Tel: +33(0)4 26 73 31 67
Fax: +33(0)4 26 73 31 60
rachel.gregoris@rhonealpes-tourisme.com





Mercure
HOTELS
LYON CENTRE CHÂTEAU PERRACHE

ホテル

MERCURE LYON CENTRE CHÂTEAU PERRACHE

メルキュール・リヨン・サントル・シャトー・ペラーシュ

出展者紹介

メルキュール・リヨン・サントル・シャトー・ペラーシュは、1906年に建築家ジョルジュ・シュダヌによって建てられたホテルです。

歴史的建築物として指定されているアール・ヌーヴォー様式はそのままに2015年に改装。全120室のうち73室を全面改装し、47室の装いを新たにしました。

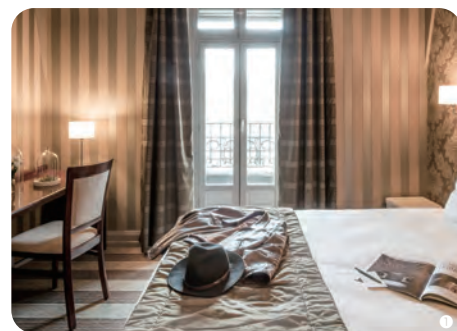
4名様までご利用いただけるお部屋やリビング付きのスイートルーム2室を備えた当ホテルは、市街中心部に位置し、またTGVの駅にも近いため、家族連れのお客様にとって理想的なホテルです。

ベルクール広場、新しい人気のエリア・コンフリユアンスや博物館までは徒歩でわずか10分です。

ビジネスでご利用のお客様には、800㎡におよぶミーティングルームが好評です。12部屋に仕切ることができるミーティングルームには役員会議室同様、自然光が入ります。ラウンジバー：「12.2」は、快適なくつろぎの空間でワインとウィスキーを楽しめる新しいコンセプトのラウンジバーです。ゆったりとした心地よいソファでくつろぎながら、メルキュールが厳選したワインやシェフのジョニー・サヴォワがご用意するお食事をお楽しみください。

ホテル内の歴史的なロビーにある読書エリアやスポーツ好きの方のためのフィットネスセンターなど、様々なサービスでお客様をお迎えいたします。

リヨンでまたとない滞在をお楽しみください。



photos▼

写真上：レセプションと読書エリア ©Abaca Corporate / Etienne Rugger

① スタンダードルーム ©Abaca Corporate / Etienne Rugger

② ミーティングルーム ©Abaca Corporate / Etienne Rugger

③ スーペリアルーム ©Abaca Corporate / Etienne Rugger

プレス用取材のアイデア

■ プレス問い合わせ ■

Marta PARDO-BADIER
マルタ・パルド＝バディエ
支配人
H1292-GM@accor.com

■ アール・ヌーヴォー ■

アール・ヌーヴォー様式（自然への回帰をテーマとした芸術や街づくり）を際立たせることに重きを置いて、ルコアダック・スコット・スタジオの建築家らによって全面的に再考し改装された当ホテルは、建築的にも装飾的にも価値ある建築物となっており、あらゆる新しい潮流を受け入れる歴史的建築物に指定されています。



■ エレガンスとモダン ■

淡いパステルブルーで彩られた客室は、リラックスできる空間になっており、壁にはリヨンを手の形に模った装飾が施されています。まさに芸術作品といえるでしょう。

■ お問い合わせ ■

MERCURE LYON CENTRE CHÂTEAU PERRACHE

12, Cours Verdun Rambaud - 69002 Lyon

<http://www.mercure.com/fr/hotel-1292-hotel-mercure-lyon-centre-chateau-perrache/index.shtml>

■ 来日者 ■

Marta PARDO-BADIER
マルタ・パルド＝バディエ
支配人



■ 担当者 ■

Florence BARBIERI
フロレンス・バルビエリ
リザーベーションマネージャー
Tel : +33(0)4 72 77 15 06
H1292-RE@accor.com



AVIGNON
TOURISME



Occitanie
Région Occitanie
Département du Vaucluse
Le patrimoine de la culture

観光局

AVIGNON TOURISM

アヴィニョン観光局

出展者紹介

アヴィニョン 2016年

パリからTGVで2時間40分、マルセイユ・プロヴァンス空港にも近いアヴィニョンは、プロヴァンス観光の起点として抜群のアクセスの良さを誇る文化都市です。14世紀にはカトリック教会の中心都市だったこともあり、礼拝堂や教会、城壁、14世紀に教皇の住まいだったゴシック建築の白眉の教皇庁や、歌に歌われて世界中にその名を知られたアヴィニョン橋などの優れた歴史遺産も豊富にあります。教皇庁とアヴィニョン橋は、ユネスコの世界遺産に登録されています。多彩なコレクションを所蔵する美術館や博物館は、芸術愛好家に至福の時を与えてくれます。またプロヴァンス地方のグルメや生活スタイルを体験するのに理想的な町です。

イベント/新着情報 2016年

■第70回アヴィニョン演劇祭

1947年にジャン・ヴィラルによってはじめられたアヴィニョン演劇祭は、世界で最も古く最も有名な演劇と舞台芸術のフェスティバルの一つです。現代の優れた作品が紹介されます。
www.festival-avignon.com 7月6日から24日

■アヴィニョン演劇祭「オフ」

アヴィニョン演劇祭と同時に市内で開催される自主公演の「オフ」では、1000以上もの作品が、世界各国から集まった1000あまりのカンパニーによって上演され、8000人近いアーティストが出演します。これらのカンパニーは町を巨大な芸術対決の場に変え、100か所ほどの場所であらゆる種類の舞台芸術が演じられます。
7月7日から30日 www.avignonleoff.com

■ヴィクトル・ヴァザルリ ミュルティプリシテ/多様性

2016年6月2日～10月2日

ヴィクトル・ヴァザルリ (1906-1997) の三部構成の展覧会「ミュルティプリシテ/多様性」は、アヴィニョン、ゴルド、エクス・アン・プロヴァンスの三か所で開催されます。

アヴィニョンでは、ヴァラン美術館にてヴィクトル・ヴァザルリ「アン・ムーヴマン」展を開催。

ヴァラン美術館で開催される回顧展には、主に個人とハンガリーの二つのヴァザルリの美術館の所蔵品を中心に数多くのオリジナル作品が展示され、17世紀と18世紀の装飾芸術のコレクションとヴァザルリの造形の世界が対話します。www.voulard.com

■レ・リュミネッサンス性

2016年8月10日から10月2日までの毎晩、教皇庁の前庭に、360度の巨大なビデオ・ショー、レ・リュミネッサンスが帰ってきます。教皇庁の何世紀にもわたる歴史をテーマに、最先端の光と音の技術を使って上演されるショーです。建築と光と音楽が詩情豊かに一つに溶け合い、観客を包み込みます。フランス語と英語での上演。
www.luminessences-avignon.com

2017年

■カレ・デュ・バレがオープン

カレ・デュ・バレはアヴィニョンに新たに誕生するワイン観光複合施設で2017年に法王宮殿の向かいにオープンします。壮麗な旧邸宅内にワインスクール、ワインバー、本格派高級レストラン、数室のスイートルームから成るレジデンスホテル、アトリウム、食に特化した商品のブティックが入ります。
www.carredupalaisavignon.com



photos▼

写真上：©JP Campomar

① ©Mairie-Avignon / Gregory Quittard

② ©Nicolas-Bryant-quadi

③ ©Philippe Bar

プレス用取材のアイデア

■プレス問い合わせ

Sylvie JOLY
シルヴィー・ジョリー
プレス・マネージャー
s.joly@avignon-tourisme.com

■ランペールコレクション展示再開

アヴィニョンのランペールコレクションは、このほど展示スペースを2倍に拡大して一般公開を再開しました。パリの画廊経営者イヴォン・ランペールが収集した現代美術作品の数は今後2つの建物全体を使って展示され、訪れる人は装いを一新したその世界に浸ることができるでしょう。この施設の主要テーマであるミニマルアート、コンセプチュアルアート、ランドアート、1980年代の絵画、写真、ビデオ、インスタレーションのコレクションが新たな視点のもとに再構成されたのです。これに花を添えるのが、本コレクションの主要作家のひ



とりであるアンドレアス・セラノの個展です。セラノがアヴィニョンに戻って来るのは、法王宮で10年前に開催された初の個展以来で、今回は現代、21世紀初頭の様々な政治的出来事に直接関連する新シリーズの写真作品の第一弾が発表されます。

■お問い合わせ

AVIGNON TOURISM

6, rue Pente Rapide BP 149 - 84008 Avignon Cedex 1

www.avignon-tourisme.com

www.avignon-tourisme.com/menu/visit-35-2.html

(英語サイト)

■担当者

Stéphane BLANC

ステファン・ブラン

営業 & マーケティングマネージャー

Tel : +33(0)4 90 27 50 54

Fax : +33(0)4 90 85 35 97

s.blanc@avignon-tourisme.com





観光局

NICE CONVENTION AND VISITORS BUREAU ニース観光会議局



Convention and Visitors Bureau

出展者紹介

世界で最も人気の高い観光地の一つで、素晴らしい自然に恵まれたコート・ダジュール地方の中心都市、ニースは、地中海都市ならではの魅力にあふれた町です。海と山に囲まれ、見どころも楽しみ方も数限りなくあります。

冬でも温暖な気候と年に300日は太陽が輝くことであまりに有名なニースの町を歩けば、豊かな建築遺産、ペル・エボック様式の宮殿や館、博物館や美術館、バロック様式の教会、花が咲き乱れる公園などが次々と姿を現します。

歴史地区にはカラフルな市場と手工芸品を扱う小さな店が点在し、そぞろ歩きやお土産探しにはぴったりです。一方、中心街には、上質なサービスで知られるデパートや高級ブ

ティックが軒を並べ、フランスの一流ブランドの最新トレンドを知ることができます。

歴史遺産や芸術鑑賞、グルメ、ナイト・ライフと、好みに応じて人それぞれの楽しみ方ができるニースですが、ただひたすら《ドルチェ・ヴィータ、甘い生活》に浸って過ごすのもお勧めです。

ニース観光会議局では、御社の個人ツアーや団体ツアーのプログラム作りのお手伝いをいたします。ホテル、レストラン、送迎、エクスカッションなどに関し、地元のパートナーをお探しの際には、ぜひご相談ください。また、視察旅行や企業旅行などのご相談にも応じています。



photos▼

写真上：ニース全景 ©ISSOCK

① プロムナード・デュ・バイヨン ©Issock

② マセナ広場 ©E.BELIN

③ カーニバル風景 ©J.KELAGOPIAN

プレス用取材のアイデア

■ プレス問い合わせ

Isabelle BILLEY-QUERE

イザベル・ビリー＝ケール

プレスマネージャー

isabelle.billey-quere@otcnice.com

■ ニースのカーニバル

2017年2月10日から2月26日

今回のカーニバルのテーマは「エネルギー」：日夜繰り広げられるカラフルで巨大なパレード、海辺の花車のパレード。

<http://www.nicecarnaval.com/en/index.php>



■ ニース料理ラベル

国際的に有名なニースの料理を保護し、広く知らしめ、後世に伝えるために作られたラベルです。ニースの食卓には、ウェルビーイングの概念と地元の食材を大切にしている心がめられています。

■ フレンチ・リビエラ・パス

より安く、より多くの場所を見学しましょう。フレンチ・リビエラ・パス（1日券、2日券、3日券）があれば、ニースとコート・ダジュールをお得に観光できます。

<http://en.frenchrivierapass.com/>

■ お問い合わせ ■

NICE CONVENTION AND VISITORS BUREAU

5, promenade des Anglais 06000 - Nice

Tel : +33 (0) 4 92 14 46 46

Fax : +33 (0) 4 92 14 46 29

marketing@otcnice.com

www.nicetourisme.com

<http://en.nicetourisme.com/> (英語サイト)

■ 担当者 ■

Ria KOLEMBUSOVA

リア・コレンブソヴァ

レジャー開発マネージャー

Tel : +33 (0) 4 92 14 46 24

Fax : +33 (0) 4 92 14 46 29

ria.kolembusova@otcnice.com





ホテル

HOTEL ELLINGTON****, NICE

ホテル・エリントン****, ニース

出展者紹介

ホテル・エリントンはニースの中心に位置しています。施設はスイートも含めて110室の客室、会議室、宴会場、ジャジー・バー & ラウンジが日当たりのよい中庭を中心に配されています。ジャズが全盛期だった時代を彷彿とさせる雰囲気になったホテルです。

ホテルのいたるところに50年代初頭を代表するアーティストたちの白黒ポートレートが飾られていて、ゲストは到着するや否やジャジーな空間に紛れ込んだ気分になります。最近リニューアルされたスイートを含む110室は、クラシックなルイ16世様式からモダン・スタイルまで様々なインテリアです。

デューク・エリントンへのオマージュとしてその名を冠したバーは独特の雰囲気を醸す内装。一歩足を踏み入れればまさに往時のジャズ・クラブにいるような感覚にみだされます。

バーの前には日当たりのよいパティオ（中庭）があり、ニースの中心地にありながらリラックスできる隠れ家を提供しています。地元の人たちにとっては、仕事帰りにコーヒーを飲みながら、友人とのんびりジャズを楽しむ憩いの場です。

アクロポリス・コンgresセンターに近いことから、ビジネスのお客様にも便利です。明るい会議室3室は全面リニューアルされ、70名様までのご利用が可能です。

ホテル・エリントンは、その環境への取り組みが認められ、過去3年グリーンキーを獲得しています。またコート・ダジュール商工会議所からクオリティ・ツーリズムのラベルも授与されています。



photos▼

写真上：デューク・バー ©Olivia Marocco

① パティオ（中庭）のテラス ©Olivia Marocco

② 客室 ©Frank Follet

③ エントランス ©Frank Follet

プレス用取材のアイデア

■ プレス問い合わせ ■

Mirna KLAI ミルナ・クライ

副支配人

mirna.klai@ellington-nice.com

Tel : +33(0)4 92 47 79 79

ホテル・エリントンは40-50年代を彷彿とさせるオリジナリティあふれるデザインで他のホテルと一線を画し、出版やイベントその他にとっても魅力あるジャジーな環境を提供しています。デューク・バー & ラウンジはその洗練から、何處にもわたって、世界中からやってきた写真家にインスピレーションを与える場となりました。ここで行われたモデルを使つての撮影はいずれも素晴らしいシーンを演出しています。ミス・モナコのコンテストでは、候補者たちのうち8名が2015年12月に当ホテルでポートレートを撮影しました。そのうちの一人がモナコ大使として世界を股にかけて活躍することになるかもしれません。2016年、ホテル・エリントンは、今回で4年連続となるファッションショーを受け入れました。その収益は毎回異なる組織に寄付されています。コート・ダジュールのブティックの素晴らしいコレクションをお披露目する機会となるこのショーには、県内から多くのファッション好きが集います。作品を優雅に身にまとうのは地元モデル・エージェンツの新人モデルたちです。トレンド発信であると同時にチャリティでもある、ニースっ子たちには毎年待ちきれないイベントです。



いいコレクションをお披露目する機会となるこのショーには、県内から多くのファッション好きが集います。作品を優雅に身にまとうのは地元モデル・エージェンツの新人モデルたちです。トレンド発信であると同時にチャリティでもある、ニースっ子たちには毎年待ちきれないイベントです。

■ お問い合わせ ■

HOTEL ELLINGTON****, NICE

25, Boulevard Dubouchage - 06000 Nice

www.ellington-nice.com

■ 担当者 ■

Mirna KLAI

ミルナ・クライ

副支配人

Tel : +33(0)4 92 47 79 79

mirna.klai@ellington-nice.com





観光局

MARSEILLE TOURIST OFFICE & CONVENTION BUREAU

マルセイユ観光会議局



出展者紹介

南仏プロヴァンスの魅力あふれる都市 — マルセイユ

■「新生」マルセイユをぜひ見に行ってください!

2013年度の欧州文化首都となって以来、マルセイユの町のイメージは大きく変わりました。旧港の遊歩道はリニューアルされ、いくつもの美術館・博物館やショッピングセンター、ホテルなどが新たにオープンしたのです。

マルセイユはフランス国内ならニースからパリへ、またスペインからイタリア、イタリアからスイスに行くときなどにはぜひ外せない宿泊地です。

- ・マルセイユ・プロヴァンス空港へは欧州の主要ハブ空港から1時間
- ・マルセイユ・サン・シャルル駅へはパリからTGVで3時間

■2600年の歴史を持つフランス最古の都市

旧港からはマルセイユ最古にして最も美しいバニエ地区を徒歩で訪ねることができます。

旧港の反対側の高台にあるノートルダム・ド・ラ・ガルド教会からは、マルセイユの町全体が見渡せるだけでなく、ビーチや、小説「モンテ・クリスト伯」で名高いイフ島を含む島々の絶景も楽しめます。

■プロヴァンスの文化、グルメ、伝統

今夏4月27日から8月29日まで欧州地中海文明博物館 MuCEM で「ピカソと民芸」展が開かれます。市内のさまざまな美術館に通じるカラフルな路地にはマルセイユ石鹸、クリスマスの飾りつけに使うサントン人形、ナヴェット（ビスケット）などマルセイユ名物のお店が軒を連ねています。旧港で朝開かれる魚

市場を見物したり、バステイス酒やマルセイユ名物の魚料理ピヤベースを味わうのもマルセイユの伝統的な楽しみです。

■建築

歴史的な建築物がリニューアルして壮麗な5つ星ホテルに生まれ変わったホテル・インターコンチネンタルなどがあるかと思えば、世界的に活躍する建築家たちが手がけた国立欧州地中海文明博物館 MuCEM や新しいショッピングセンターなどマルセイユは興味深い建築の宝庫です。ル・コルビュジエの「シテ・ラティウーズ」は2016年のユネスコ世界遺産候補として推薦されています。

■海と自然—レ・カラंक国立公園

マルセイユを海から訪ねてみましょう。イフ島の城砦に出会うもよし、「レ・カラंक」国立公園へ向かうもよし。20kmにわたる大自然、石灰岩の崖にふちどられた美しい入り江と目が覚めるようなトルコブルーの水面が広がっています。

■ショッピング

旧港近くのレビュブリック通りやバラディ通りには高級ブランドのショップが建ち並んでいます。町の中心部にあるギャラリー・ラファイエット百貨店はリニューアルされました。また欧州地中海文明博物館 MuCEM の周辺には3か所の新しいショッピングセンターがオープンしています。

FITのお客様はマルセイユのシティバスをご利用ください。24時間、48時間、72時間の3種類があります!グループならマルセイユ観光局で日本語ガイド付きツアーをご用意しています!

www.marseille-tourisme.com



photos▼

写真上: ©M.Colin

① ©OTCM / H. Auer

② ©Fotolia

③ ©OTCM / H. Auer

プレス用取材のアイデア

■プレス問い合わせ

Marion FABRE

マリオン・ファブール

広報担当

mfabre@marseille-tourisme.com

マルセイユで楽しめるもの。57kmにもわたる海岸線、世界でもトップクラスに数えられる美しい錨泊地、年間300日を超える晴天日、美味なる地中海料理、歴史的遺産…。そしてここ数年では国際的に活躍する有名建築家たちの手により、町全体が大変身をとげています。マルセイユは世界で高く評価されています。ナショナル・ジオグラフィックの「ぜひ行きたい世界の海辺の町トップ10」にランクインしたほか、ウェブサイト www.luxe-magazine.com では「港のテラス Terrasses du Port」が「ぜひ行きたい世界の屋上トップ10」のひとつに、そして新ヴェロドローム・スタジアムはユーロスポーツのウェブサイト www.eurosport.fr で「ヨーロッパで最も



美しいスタジアム」に選ばれました。さらにMuCEM（欧州地中海文明博物館）は2015年度欧州議会のミュージアム大賞に輝きました。MuCEMでは今年4月27日から8月29日まで「ピカソ、台座を持たない天才（ピカソと民芸）」展が開かれています。

■お問い合わせ

MARSEILLE TOURIST OFFICE & CONVENTION BUREAU

11, La Canebière - 13001 Marseille

info@marseille-tourisme.com

www.marseille-tourisme.com

www.marseille-tourisme.com/jp/ (日本語サイト)

■担当者

Cyrille SABOYA

シリル・サボヤ

プロモーション・レジャー・マネージャー

Tel : +33(0)4 91 13 89 23

csaboya@marseille-tourisme.com





観光局

ARLES CAMARGUE

アルル観光局



出展者紹介

プロヴァンス地方アルル、古代と現代が共存する町!

芸術と歴史の町アルル。市内に点在するローマ遺跡とロマネスク様式建築群はユネスコ世界遺産に、また南部に広がるカマルグは世界自然保護区に登録されています。アルルはまたフォトフェスティバルが開催され、国立高等写真学校を有する写真の町でもあります。市内には多くのアートギャラリーやフォトギャラリーがあります。何よりその類いまれな陽光がゴッホやピカソ、クレルグらにインスピレーションを与え、今日なお多くの芸術家たちを惹きつけています。

アルル観光局ではガイド付きツアーや各種パッケージ商品、さまざまな貸切イベント（試食・試飲、芸術工房見学、料理教室など）、講演、語り部による案内、また商品化のテクニックなどを提案しています。

観光局のセールス担当チームへのコンタクト、各種商品やサービスに関する情報はこちらのサイトからどうぞ。
www.arlestourisme.com

■ フォーカス

- ・フィンセント・ファン・ゴッホ財団で2016年5月14日～9月11日ゴッホ展を開催
- ・レアテュ美術館：ピカソのデッサン57点、豊富な写真作品コレクション、クリスティアン・ラクロワのオートクチュールのデッサン67点
- ・アルル古代博物館とその国宝：ローヌ河で発見された全長31mのローマ時代の平底船
- ・リュマ財団の芸術研究センターの建設：建物のひとつはフランク・ゲリーの設計、完成は2018年春
- ・アルルの史跡やミュージアム見学に便利なバス・モニュマンPass monuments



photos▼

写真上：©Office de tourisme d'Arles
①、②とも ©Office de tourisme d'Arles
③ ©Lionel-Roux
④ ©Office de tourisme d'Arles

プレス用取材のアイデア

■ プレス問い合わせ ■

Anne BENEZECH

アンヌ・ベネツェック

営業担当

a.benezech@arlestourisme.com

アルルのローマ遺跡とロマネスク様式建築群はユネスコの世界文化遺産に登録されています。

画家ゴッホを惹きつけた光の町：わずか15か月で300点を超える作品が生まれました。

多くの芸術家をインスパイアした町：ピカソ、リュシアン・クレルグ、クリスティアン・ラクロワ

カマルグの中心地：ヨーロッパで最も美しい自然地区の一つ。カマルグ地方自然公園では貴重な動植物が保護されています。

生きる喜びにあふれる南仏の町アルルでは写真、音楽、文学、演劇のフェスティバルなど年間を通じてさまざまなイベントが開催されています。



■ お問い合わせ ■

ARLES CAMARGUE

12, boulevard Emile Zola - 13200 Arles

www.arlestourisme.com

■ 担当者 ■

Anne BENEZECH

アンヌ・ベネツェック

営業担当

Tel : +33(0)4 90 18 41 26

Fax : +33(0)4 90 93 17 17

a.benezech@arlestourisme.com





ミディ・ピレネー地方観光局施策 / EU出資プロジェクト

観光局

MIDI PYRÉNÉES TOURIST BOARD

ミディ・ピレネー地方観光局

出展者紹介

ラングドック・ルシヨン=ミディ・ピレネー地方でランデヴー

ボン・デュ・ガールからピレネー山脈のガヴァルニー圏谷まで、ドルドーニュ渓谷から地中海の海水浴場まで…ラングドック・ルシヨン・ミディ・ピレネー地方は、南フランスの広大な地域を占めており、世界的に有名な観光地が沢山あります。ミディ運河、アルビ、カルカソンヌ、レルド、サンティアゴ・デ・コンボステラ巡礼路沿いのサン・ギレーム・ル・デゼールとコンクなどは、素晴らしい名所を彩る村々で、南部の2大都市トゥールーズとモンペリエは誰もが魅了されることでしょう。

ミディ・ピレネー地方は、26を超える世界的に知られる個性豊かな観光地があり、フランス南西部の大部分を占めています。太陽にあふれ、グルメで、魅力的なこの地

方は、皆さまをアール・ド・ヴィーヴル（生活の美）と美しい景色で魅了することでしょう。

またミヨー高架橋やピック・デュ・ミディとその天文台といった世界でも珍しい芸術的建築物や、コルド・シュル・シエルやロカマドゥールといった「中世の真珠」ともいえる村々、ガヴァルニー圏谷やボン・デスパニーユといったユネスコ世界遺産に登録されている自然景勝地を目にすることで、まさに素晴らしい現代に遺された名所で、フランスの豊かさを凝縮した地方です。

また、サン・シル・ラポビーは、日本旅行業協会（JATA）主催のコンクールにてヨーロッパで最も美しい村々の一つとして選ばれています。



photos▼

写真上：ミディ運河 ©Dominique VIET/CRT Midi-Pyrénées

① ピック・デュ・ミディ天文台 ©Dominique VIET/CRT Midi-Pyrénées

② コンク ©Dominique VIET/CRT Midi-Pyrénées

③ サン・シル・ラポビー ©Dominique VIET/CRT Midi-Pyrénées

プレス用取材のアイデア

カオールでは、多くのワインセラーで、マルベック品種から作られる「黒ワイン」の試飲を楽しむことができます。黒い色は、体によいポリフェノールがぎゅっと詰まっていることの証。カオールからは、サン・シル・ラポビーまでロット川クルーズを楽しみましょう。JATA率いるチーム・ヨーロッパによってフランスで最も美しい村の一つとして選ばれています。

2016年6月11日～9月25日：ロデズのスーラージュ美術館でピカソ特別展開催（油彩画、デッサン、リトグラフ）。

2016年10月20日～2018年12月末：トゥールーズのシテ・ド・レスパスにてアストロノート（宇



宙飛行士）展開催。国際宇宙ステーションにおける宇宙飛行士の生活を体験することができます。

お問い合わせ

MIDI PYRÉNÉES TOURIST BOARD

15, rue Rivals - 31685 Toulouse cedex
Tel : +33(0)5 61 13 55 55 Fax : +33(0)5 61 47 17 16
information@crtmp.com
www.tourisme-midi-pyrenees.com
www.midi-pyrenees-kanko-spot-tokusen.jp (日本語ページ)

プレス担当者

Jacques DAOULAS ジャック・ダウラス
プロモーション・広報部長
jacques.daoulas@crtmp.com



担当者

Nicole PRADINES ニコール・ブラディン
プロモーション部長
Tel : +33(0)5 61 13 55 11
Fax : +33(0)5 61 47 17 16
nicole.pradines@crtmp.com





ミディ・ピレネー地方観光局施策 / EU出資プロジェクト



SO TOULOUSE OFFICE DE TOURISME トゥールーズ観光局

出展者紹介

南西フランスへの玄関口、ラングドック・ルシヨン＝ミディ・ピレネー地方を巡る旅の必見の地トゥールーズは、その豊かな色彩とラテン気質で訪れる人を魅了します。陽光と生きる喜びがあふれる土地柄にあって、トゥールーズの町には歴史遺産と革新、そして祝祭の楽しみが共存しているのです。

おいしいものと打ち解けた雰囲気、そして芸術に彩られた歴史を愛するこの「バラ色の町」では、心おどる文化やスポーツのイベントが一年中繰り広げられています。マルシェをそぞろ歩いて地元の名産品、チーズやハム・ソーセージ類、フォワグラなどを味わってみましょう。またガロンヌ川やユネスコ世界遺産のミディ運河の川べりにも足をのばしてください。トゥールーズ名物スミレの産品やトゥールーズの黄金のブルーとよばれるパステル染料の秘密を知るのもお忘れなく。美術館をめぐる、ルネサンスの壮麗な邸宅、ユニークな建築、トゥールーズ訛りが飛び交う商店が建ち並ぶ歴史地区もぜひ訪ねてみましょう。食の楽しみも

欠かせません。伝統的スタイルのビストロで郷土料理を味わうのも、8軒あるミシュランの星付きレストランで創作料理を楽しむのもトゥールーズなら可能です。「星の王子さま」の作者で南方郵便機のパイロット、アントワーヌ・ド・サン＝テグジュペリの足跡をたどるのも、エアバスA380に乗ったり、テーマパーク「シテ・ド・レスパス」で宇宙を旅するのもこの町ならではの楽しみです。

最近オープンした航空科学技術博物館「アエロスコピア」は単なるミュージアムを超えた人生の交流の場となっています！

航空機史上の4つのアイコンであるカラヴェル、コンコルド、スーパーグッピー、エアバスA300Bのほか30を超える歴史的モデルの本物の機体が展示されたアエロスコピアでは展覧会、アトラクション、フェスティバル、児童・生徒のための教育的イベントなど充実した文化プログラムが組まれています。



photos▼

写真上：@P.Nin

① @D.Viet

② @Citéelespace

③ @Grands Sites Midi Pyrénées 2015 / Patrice Hebaut

プレス用取材のアイデア

■ プレス問い合わせ ■

Mélissa BUTTELLI

メリッサ・ビュテリ

PR担当

m.buttelli@toulouse-tourisme.com

トゥールーズではユネスコ世界遺産に登録された運河のほとりや巡礼路で静謐の時を見出してください。フランスの究極の美食も堪能できます。トゥールーズは地中海と大西洋を結ぶミディ運河が通る水の町。2016年はミディ運河がユネスコの世界遺産に登録されて20周年にあたります。ゆったりとした寛ぎの時間をとって、トゥールーズ



に8人いるミシュラン星付きシェフのいずれかの店で究極の美食を味わうのもお忘れなく！

■ お問い合わせ ■

SO TOULOUSE OFFICE DE TOURISME

Donjon du Capitole - BP38001 - 31080 TOULOUSE Cedex 6

Tel : +33(0)5 81 31 30 26 Fax : +33(0)5 61 23 74 97

promotion@toulouse-tourisme.com

www.toulouse-tourisme.com

www.jp.toulouse-tourisme.com (日本語)

■ 担当者 ■

Julie SOUPENE ジュリー・スパーヌ
プロモーション担当

Tel : +33(0)5 81 31 30 26

Fax : +33(0)5 61 23 74 97

j.soupene@toulouse-tourisme.com





空港

TOULOUSE BLAGNAC AIRPORT

トゥールーズ・ブラニャック空港

出展者紹介

トゥールーズ・ブラニャック空港：
南西フランスへのゲートウェイ

トゥールーズ・ブラニャック国際空港はフランス第5の空港で2014年には700万人の乗客が利用しました。欧州の主要ハブ空港すべてと結ばれ、パリのシャルル・ド・ゴール空港、フランクフルト、ミュンヘン、ロンドン、アムステルダムとの間にはディリー便が運航して、ミディ・ピレネ地方へのアクセスを容易にしています。トゥールーズは南仏の中心に位置しており、ボルドー、カルカソンヌ、ラングドック・ルシヨン地方やドルドーニュ渓谷へのアクセスにも便利です。

■ミディ・ピレネ地方に来るべき数々の理由とは：

- ・地方の首都トゥールーズはフランス第4の都市
- ・市内に点在する、2000年の歴史がある由緒ある建築物
- ・世界の航空産業の中心地（エアバス）
- ・ヨーロッパの宇宙産業の中心地
- ・若々しく活気あふれる雰囲気、フランス第3の文教都市

- ・文化：170を超える美術館・博物館、毎年200のフェスティバル
- ・グルメ：ミシュランの星を持つシェフたち、100を超える認定ラベル付き産品、広大なブドウ畑
- ・魅惑の見どころの数々：中世の町、要塞都市、テンプル騎士団の町、フランスで最も美しい村々、ユネスコ世界遺産（アルビ、ミディ運河、ガヴァルニー園谷、サンティアゴ・デ・コンボステラへの巡礼路、名高いカタリ派の城…）
- ・秀逸な技術：エアバス、ピック・デュ・ミディの天文台、ミディ運河、ミヨー高架橋
- ・大自然：のべ2万8000kmにわたるハイキングロード、ミディ運河を含む300kmの航行できる水路、4つの自然公園とピレネ国立公園、ピレネ山脈には23のスキー場
- ・暖かいもてなし：ルレ・エ・シャトー加盟店を含む1000軒を超えるホテル
- ・最高のクオリティ・オブ・ライフ：陽光あふれる温暖な気候、暖かく寛大な気質



photos▼

- ① トゥールーズ、キャピトル広場 ©patrice nin
- ② シテ・ド・レスパス ©Manuel Huynh

プレス用取材のアイデア

■ プレス問い合わせ ■

Marc DUPEYRON
マルク・デュペイロン
m.dupeyron@toulouse.aeroport.fr

2015年はフランスの空港業界に画期的な変化がもたらされた年といえるでしょう。フランス政府の持ち分の49.99%が、シャンドン・ハイ・スピード・グループ（中国）とフリードマン・パシフィック・アセット・マネジメント（香港）から成る企業集団シンピオーズに売却され、トゥールーズ・ブラニャック空港がフランス初の民間資本を導入した空港となったのです。シンピオーズの在仏子会社カジル・ヨーロッパがトゥールーズ空港の経営に参画することによって、



新たなプロジェクトや戦略の方向性が打ち出されました。すなわち欧州内のローコスト便と長距離国際線を、国際基準にそった商品提供で支援することにより、今後伸ばして行こうというものです。

■ お問い合わせ ■

TOULOUSE BLAGNAC AIRPORT

Aéroport Toulouse Blagnac - Bâtiment La Passerelle -
CS 90103 - 31703 Blagnac Cedex
<http://www.toulouse.aeroport.fr/en>

■ 担当者 ■

Anthony GARCIA
アントニー・ガルシア
スケジューリング・ルートアナリスト
Tel : +33(0)5 61 42 45 55
a.garcia@toulouse.aeroport.fr





観光局

ALBI TARN TOURIST BOARD

アルビおよびタルン県観光局

出展者紹介

■タルン県

森、山、ブドウ畑、草原と、コントラスト豊かな風景が特徴のタルン県は、トゥールーズにも近いミディ・ピレネー地方で二番目に大きな県です。南西フランスと南フランスの境に位置し、大西洋沿岸の緑の多い爽やかな気候と地中海沿岸の光あふれる穏やかな気候の両方に恵まれています。

変化に富んだ草原地帯となだらかな山岳地帯という多彩な風景の中を、数多くの川が流れ、湖や池が点在しています。

タルン県は、古い城壁に囲まれた村や城、教会、美術館や博物館などの歴史・文化遺産にも恵まれています。アルビ周辺地域の要塞都市の中でも最も有名なコルド・シユル・シエルは1222に造築され、今では多くの手工芸家や画家や陶芸家や弦楽器職人が暮らしています。ピュイセルシ、カステルノー・ド・モンミライユ、ベンネなどの古い村々は、訪れる者を中世の時代へとタイムスリップさせてくれます。

動乱の歴史を今に伝えるタルン県ですが、この2世紀ほどの間に様々な分野の工業が栄え大きな発展を遂げています。古くから質の高いブドウの生産地として知られるガイヤックのワインは、南西フランスのグラン・クリュの一つです。

■アルビ

アルビの町は、たとえ半日でも、あるいは一日、あるいは泊りがけでも、素晴らしい環境の中でゆったりと観光することができます。歩行者専用地区を歩けば、様々な歴史遺産が次々と姿を現します。町を象徴するレンガ造りの建物は、2010年7月にユネスコの世界遺産に登録された司教都市アルビの遺産の一部です。

世界最大のレンガ造りの大聖堂であるサント・セシル大聖堂やトゥールーズ・ロートレック美術館があるベルビー宮殿が、ハーフティンバーの家々やルネッサンス様式の館、さらにはファッション・ブティックや国際的な建築家ドミニク・ペローの手による大劇場（2014年）のような現代的な建物と軒を並べています。そして、手入れの行き届いた公園が、こうした建物を美しく彩ります（花の美しい町に与えられる「金の花賞」受賞）。

太陽の光が降り注ぐレストランやカフェのテラス、夏の大道芸、郷土色豊かな市場、アンティーク好きな人々の楽園である土曜日の骨董市など、南の雰囲気包まれて、その魅力をたっぷりと味わいましょう。



photos▼

写真上：コルド・シユル・シエル ©Jean Paul AZAM

① サント・セシル大聖堂

② アルビ街並み ©Thierry LAFOND

③ サント・セシル大聖堂内陣

プレス用取材のアイデア

■プレス問い合わせ

Christian RIVIÈRE クリスチャン・リヴィエール
広報担当
christian.riviere@cdt-tarn.fr

■「日本のテキスタイル2016」展

今シーズン全般的に、タルン県内各地のミュージアムで日本をテーマにした3つの展覧会が同時並行で開催されます。JAPON TEXT ÎLE(S)、すなわち「テキスタイル」と同時に「テキスタイル(文)・イル(島)」と銘打った一連の展覧会は、テキスタイル、文学、さらには造形美術を通じて日本の芸術を知る絶好の機会です。

●「日本のテキスタイル・イル2016」伝説の怪獣と俳句

カイヤ博物館 4月16日～10月30日

●「日本のテキスタイル・イル2016」糸をめぐる旅

タルン県立繊維博物館 2016年5月6日～10月30日

●「日本のテキスタイル・イル2016」軍艦島、幽霊の島

ジョルディ・モー&雑誌雄二 写真展

タルン県立鉱山博物館 2016年6月1日～10月16日

■アルビ大聖堂内陣

アルビ大聖堂のジュベ（内陣）は、一年半の修復工事を経て

2015年秋から再び一般公開されています。フランボワイヤン・ゴシックの至宝が往年の輝きを取り戻したこの修復工事の大部分は、ワールド・モニュメント財団ヨーロッパのメセナにより実現しました。

教会内部のもうひとつの教会といえる内陣は、昔は聖職者たち専用のスペースで、その保存状態の良さと彫刻をほどこした石の装飾のすばらしさを見る者を驚嘆させずにはおきません。

アルビ大聖堂が建てられたサント・セシール（聖セシリア）の像が見下ろす聖歌隊席に見られる多数の小天使像と壁の彩色も、今回の修復工事でその鮮やかな色が甦りました。

また今回の修復では音響と照明の大規模な工事も施され、2010年にユネスコ世界遺産に登録されたアルビ司教都市の白眉である大聖堂は新しく生まれ変わりました。

鮮やかなブルーと金に彩られた丸天井の下で優美な姿を見せる華麗な石の装飾の数々は、500年を超える歳月を経て今日また新たな栄誉を与えられ、訪れる人に深い感動を与えることでしょう。



■お問い合わせ

TARN TOURIST BOARD

41, rue Porta - BP 225 - 81006 Albi

Tel : +33(0)5 63 77 32 10

Fax : +33(0)5 63 77 32 32

documentation@cdt-tarn.fr

www.tourisme-tarn.com

www.tourisme-tarn.com/en/tarn (英語ページ)

■担当者

Annick BERTHOMÉ アニック・ベルトメ
商品開発・商品化部責任者

Tel : +33(0)5 63 77 01 60

annick.berthome@tourisme-tarn.fr

■来日者

Thierry LAFOND ティエリー・ラフォン
アルビ・タルン県ホテル経営者クラブ代表





CARCASSONNE

カルカッソンヌ観光局



出展者紹介

オード川の両岸に広がるカルカッソンヌ。ブドウ畑に囲まれたこの町は、背後にモンターニュ・ノワールが控え、地平線にはピレネー山脈を望みつつも、ちょっと足を延ばせば地中海まですぐという贅沢なロケーションを誇ります。

過去の記憶が刻まれた町カルカッソンヌは、2500年の歴史をもち、2つの世界遺産を擁しています。その一つが1996年に登録されたミディ運河です。そしてもう一つが「シテ」と呼ばれる城砦都市で、1997年に世界遺産に登録されました。シテはまさに中世の村そのもので、跳ね橋、3kmの城壁、19世紀にヴィオレ・ル・デュックによって見事に修復された52の塔で守られています。シタダン、つまりシテの住人は今なお100人ほどおり、一年を通じてこの城砦都市の内部で暮らしています。シテの中には南仏の香りが漂う店やレストラン、通年で営業しているホテルなどがあります。シテはまたイベントの舞台として利用されており、国際フェスティバル、中世祭り、馬上槍試合などたくさん催しものが賑やかに開催されています。中でも7月14日の革命記念日の花火は有名です！

ミディ運河は徴税吏ビエール＝ボール・リケの最高傑作で、17世紀に建設されました。トゥールーズと地中海をつなぐこの全長240kmの運河に沿って、350の工作物（開門、運河橋、曳き船道など）が配されています。運河は現在、平底船での観光クルージングに利用されており、開門の通過がアクセントを添える、のんびりとした船旅が楽しめます。

運河の船着き場とシテのあいだにはバスティード・サン・ルイ（城外の下町）があり、教会、大聖堂、ミュージアム、木陰のある広場、露天市、豪華な屋敷などが散策の見どころとなっています。四季折々に異なる色彩を帯び、13世紀から同じ場所で開催されているハーブ市は必見です。さらに、カスレなどの郷土料理や名産物、近年高い評価を得ようになっている地場ワインなどを味わい、南仏を感じさせる味、香り、色彩を楽しんでください。

過ごしやすく、見どころ満載の南仏の町カルカッソンヌは旅の理想的なディステーションであり、質の高い各種宿泊施設、豊かな食の伝統、充実したスポーツ・文化施設がそろっています。

シテとバスティードのあいだにはゴルフ愛好家を夢中にさせる18ホールのゴルフ場があるほか、ミディ運河の曳き船道やオード川の河岸に沿って静かで快適な散策・サイクリングコースが設けられています。

また、近隣にあるカヴァイエール湖は標識のついた遊歩道が設けられた素晴らしいレジャーエリアとなっています。さらに夏場は監視員が常駐する水浴場にもなるのでウォータースポーツが満喫できるほか、乗馬、ミニゴルフ、森林アスレチックも楽しめます。

アクセス：トゥールーズから45分、マルセイユから3時間、バルセロナから3時間多様性に富んだ景観、豊かな文化遺産、多種多彩な野外アクティビティが楽しめるカルカッソンヌは、見どころの多い南仏をめぐる旅の拠点として理想的です。



photos▼

写真上：©Paul Palau

① 7月14日の革命記念日の花火 ©OMT Carcassonne

② ©OMT Carcassonne

③ ©OMT Carcassonne

プレス用取材のアイデア

■ プレス問い合わせ ■

Marie CROUZET マリー・クルゼ
プロモーション担当
crouzet@carcassonne-tourisme.com
Tel : +33 (0) 4 68 10 24 33

カルカッソンヌの中世城砦都市（シテ）は1997年に、町を横断するミディ運河は1996年にそれぞれ UNESCOの世界遺産に登録されています。地中海、ピレネー山脈、モンターニュ・ノワールに囲まれたカルカッソンヌの美しさはその歴史の豊かさに決して劣るものではありません。ヨーロッパの完成度を誇る見事な城砦都市の見学する。バスティード・サン・ルイの歴史ある細い路地の散策する、オード川やミディ運河の川岸の魅力に触れる……など、さまざまな楽しみ方が可能です。カルカッソンヌはヨーロッパの中でも異彩を放つ町

であり、映画やTV番組などの撮影地として最適です。これまでケビン・コスナーの「ロビン・フッド」、ジャン・レノの「おかしなおかしな訪問者」、ケイト・モス原作の「ラビリンス」など20本近い映画のロケ地となっています。



■ お問い合わせ ■

OFFICE DE TOURISME DE CARCASSONNE
28, rue de verdun - 11000 Carcassonne
<http://www.tourisme-carcassonne.fr/>

■ 担当者 ■

Marie CROUZET
マリー・クルゼ
プロモーション担当
Tel : +33(0)4 68 10 24 33
crouzet@carcassonne-tourisme.com





ミディ・ピレネー地方観光局施策 / EU出資プロジェクト



HAUTES-PYRÉNÉES TOURISME

オート・ピレネー県観光局

出展者紹介

オート・ピレネーには世界的に有名な観光地とヨーロッパならではの豊かな自然があります。毎年数百万の観光客が訪れる名所ルルド、ピレネー山脈で最も高い峠道トゥルマレ、ユネスコ世界文化遺産に登録されたガヴァルニー圏谷。ロープウェイでアクセス可能な標高2877メートルのピック・デュ・ミディでは、山々の雄大なパノラマとヨーロッパ随一の澄んだ空が一望できます。ピレネー国立公園では、サンバガエル、シロアシザリガニ、シロエリハゲワシ、ヒゲワシさらに1250種を超える顕花植物など、珍しい動植物の数々を目の当たりにするでしょう。

山からは天然温泉が流れ出ており、8か所ある温泉施設は訪れる人々を癒してくれます。山腹に作られた3キロほどのトンネルを通れば、オークル色が反射したターコイズ色の水がきらめくスペイン・アラゴン地方まで足を延ばすことができます。

冬のオート・ピレネーでは、広大な手つかずの自然の中でハイテクのスキーを楽しむことができます。さらにピレネー国立公園やガヴァルニーといったまさに自然保護区域の中でスキーを楽しむ特権もあります。スキー愛好家の方には、ピック・デュ・ミディのフリーライド専用スキーサイトもあります。アフタースキーには、8か所ある温泉施設でスパを楽しんだり、山間の魅力的な小さな村を訪れたり、地方特産物を味わってはいかがでしょうか。

アンナが皆さまをお迎えし、良質の宿泊施設、各種アクティビティ、温泉施設などの各担当者をご紹介します。クライアントの要望に応える滞在を企画するお手伝いをいたします。



photos▼
写真上：©HPTE / Pierre
① ©HPTE BALNEA
② ©HPTE / PATRICE THEBAULT
③ ©HPTE -CRT- VIET

プレス用取材のアイデア

■ プレス問い合わせ ■
Anna FONTAN
アンナ・フォンタン
プロモーション・商品化マネージャー
anna.fontan@ha-py.fr
Tel : +33(0)5 62 56 70 06



オート・ピレネーにはいくつもの名所があります。聖地ルルド、ツール・ド・フランスのサイクリストが駆け登るトゥルマレ峠、ユネスコ世界文化遺産に登録されたガヴァルニー圏谷、ロープウェイでアクセス可能な標高2877メートルのピック・デュ・ミディのまたないパノラマ景色。ピレネー国立公園には、多種多様の動植物が生

息しています。ピレネーの植物相は1700種にも
のぼり、ピレネーユリなどその内160種はピレ
ネー固有種です。

■ お問い合わせ ■
HAUTES-PYRÉNÉES TOURISME
11, rue Gaston Manent - BP9502 65950 - Tarbes Cedex
anna.fontan@ha-py.fr
www.tourisme.hautes-pyrenees.com

■ 担当者 ■
Anna FONTAN
アンナ・フォンタン
プロモーション・商品化マネージャー
Tel : +33(0)5 62 56 70 06
anna.fontan@ha-py.fr





ミディ・ピレネー地方観光局協賛 / EU出資プロジェクト

観光局

TOURIST OFFICE OF LOURDES ルルド観光局

出展者紹介

全世界に知られ称賛される町ルルドは、求める人には誰にでもベールを脱いでその姿を現してくれます。時を超えた美しさを持つ祈りと出会いの場ルルドは、訪れる人をどこかの出身であろうといかなる信仰を持っていようと歓迎し受け入れています。ここでは緻密に選び抜かれたさまざまなアクティビティによって元気を取り戻し、心の安らぎを得、心身を癒すことができます。

夜ことの燭台行列は、見る人も参加する人も深い感動と分かち合いの精神を深く心に刻みつけられるひとときです。毎日夜のとばりが町を包むころ、何千もの巡礼者たちが手に手に小さな燭台を持ち、聖歌を歌いながら聖母出現の洞窟からノートル・ダム・ド・ロゼール大聖堂までを行進します。その雰囲気は明るく、エネルギーに満ち溢れ、身を震わす感動を味わうことができます。ルルドの聖域からはるか外まで広がる何千もの灯りの力強さと美しさに圧倒されずにはいられません。

ごつごつした岩山の上に立つ歴史的建造物ルルド城砦は、聖母マリアの町を厳かに見下ろしています。シャルルマーニュの伝説が刻まれたこの中世の歴史遺産の中にはピレネー博物館があり、山岳生活の伝統のみならず城砦の歴史に関する展示も見ることができます。

夜間は光る大十字架が目印となるピック・デュ・ジェール Pic du Jerの見晴らし台からは、ルルドの町とピレネー山脈の絶景を望むことができます。これは恐らくこの地方で最も美しい景色のひとつといえるでしょう。100年以上前から動いている魅力的な登山電車に乗れば標高1000メートルのピック・デュ・ジェール頂上に至ります。ハイキングの小道は徒歩でも自転車でもたどることができます。ピレネーの山々を見渡せる散策では大自然を満喫し、絶景を心ゆくまで楽しめます。

清冽という名のカクテルの仕上げには自然に湧き出る湯が加わります。ルルドのすぐ近くにある温泉センターへもぜひどうぞ。



photos▼

写真上：ノートルダム・デュ・ロゼール大聖堂 ©P. Vincent / OT Lourdes

① ピック・デュ・ジェールのケーブルカー ©P. Vincent / OT Lourdes

② 城砦 ©P. Vincent / OT Lourdes

③ ルルド湖 ©P. Vincent / OT Lourdes

プレス用取材のアイデア

■ プレス問い合わせ ■

Corine LAUSSU

コリーヌ・ロシュ

プロモーション、コミュニケーション担当

c.laussu@lourdes-infotourisme.com

Tel : +33(0)5 62 42 77 44

「巡礼の地はアウトドアの基地でもあった」

ルルドというと「巡礼の旅」をイメージされる方が多いものですが、周囲を大自然に囲まれた地形ゆえ、アウトドアレジャーの本拠地としても有名です。トレッキングはもちろん、MTBのダウンヒルコースもスリリングでお勧めです。思いきり



体を動かしたあとは温泉で疲れを癒しましょう。聖地の水ならではの効用が期待できるかも!?

■ お問い合わせ ■

TOURIST OFFICE OF LOURDES

Place Peyramale - 65100 Lourdes

www.lourdes-infotourisme.com

■ 担当者 ■

Corine LAUSSU

コリーヌ・ロシュ

プロモーション、コミュニケーション担当

Tel : +33(0)5 62 42 77 44

c.laussu@lourdes-infotourisme.com





ACCORHOTELS アコーホテルズ

出展者紹介

アコーホテルズはフランス・パリを拠点としたヨーロッパ最大のインターナショナルホテルチェーンです。現在、世界92ヶ国に約3900のホテルを展開しています。ラグジュアリーブランドの「ソフィテル」をはじめ、アップスケールブランドの「ブルマン」「Mギャラリー」、ミッドスケールブランド「ノホテル」「メルキュール」「アダジオ」、エコノミーブランド「イビス」など、ラグジュアリーからエコノミーまでの全17ブランドでそれぞれの目的に合わせたステイをご提供しています。

フランス国内のアコーホテルズネットワークは、現在1500軒を超えており、フランスのあらゆる地域でお客様のお越しをお待ちしております。

ラグジュアリーブランドのソフィテルは、フランス全土の主要な観光地に12軒、パリ市内に4軒、アコーホテルズの最上位ブランドとして、フレンチエレガンスでラグジュアリーなステイをお約束します。本格的なフレンチレストランや地元パリジャンに愛されるバーなど、フランスならではの雰囲気をご堪能いただけます。ソフィテルだけのソフィテル My ベッドの導入で快適な睡眠もお約束いたします。人気のオペラ地区に位置する「ホテルスクリプパリ by ソフィテル」では、名高いデザイナーであるジャック・グランジュがデザインした19世紀に建てられた歴史あるホテルで、フランス・パリならではの優雅なひとときをお楽しみいただけます。

世界中に広がる、コスモポリタンなホテルを象徴するブランド、ブルマン。時代に沿ったトラベラーのニーズに対応する、アップスケールホテルです。市内最大級の客室数と最新テクノロジーを備えた「ブルマンパリモンパルナス」は、レジャーでのご利用はもちろん、ビジネスシーンに必要な設備がすべてそろった大型ホテルです。10名から最大2000名まで対応できる大小様々な会議室にて、お客様のご要望にあったテラーメイドのミーティングプランをMICEスペシャリストがご案内いたします。

「アダジオ」は、長期滞在におすすめなアパートメントホテル。到着したばかりでも、まるで自宅にいるかのように感じる環境がお客様のお越しをお待ちしております。キッチンをはじめランドリーなどすべてが揃った広い空間で、長期滞在も快適に過ごすことができます。安心の24時間体制のフロント、家事サービス、ビュッフェスタイルの朝食など、数日でも数ヶ月でも、アダジオで、安心快適な滞在をお楽しみください。

イビスは全世界に1000軒を超えるネットワークを誇る、アコーホテルズを代表するエコノミーホテルブランド。どここのイビスに行っても、ベストプライスで快適なステイをお約束。

見知らぬ地へのご出張やご旅行でも、安心かつ快適にご宿泊いただくために、イビスでは、フレンドリーなサービスでお客様をお迎えいたします。



photos▼

写真上：ソフィテルマルセイユビューポート

① ソフィテルストラスブルグランドイル

② ホテルスクリプパリ by ソフィテル

③ ホテルモリトルパリ Mギャラリー by ソフィテル

プレス用取材のアイデア

■ プレス問い合わせ ■

浅場衣里

ブランド&コミュニケーションズマネージャー
eri.asaba@accor.com

アコーホテルズのラグジュアリーブランド・「Mギャラリー by ソフィテル」で、忘れられないひとときを。

各ホテルそれぞれにそのホテルの持つ、魅力とその歴史が取り入れられており、個性が全く違うラグジュアリーホテルコレクションです。フランスのおもてなしの心を基本とし、世界中に広がる「Mギャラリー by ソフィテル」では、そのホテルでしか体験できない特別な時間をお過ごしいただけます。1929年に生まれて以来、アールデコ建築の美しいプールとしてセレブリティにも愛され、世界的に有名なプールだったモリトルがMギャラリー by ソフィテルブランドの「ホテルモリトルパリ」として2014年5月に生まれ変わりました。この歴史建造物をベースとし、ストリートアーティストによって描かれたアートが見事に歴史と現代を融合し、モダンなことでしか見ることでない忘れられない空間を作り出しました。



また、昨年オープンしたばかりの人気のオペラ地区に立つ、「レシエ オペラ パリ」は、フランスの文化とアートを掛け合わせ、まるでパリジャンのアパートメントのようなパリのらしいモダンなホテル。ホテルごとに違った色を持つMギャラリー by ソフィテルで、ラグジュアリーな忘れられないひとときをお過ごしください。

■ お問い合わせ ■

ACCORHOTELS

東京都千代田区内幸町1-1-7 NBF日比谷ビル12F

www.AccorHotels.co.jp

■ 担当者 ■

Hiromi UEHARA

上原 美

セールスマネージャー

hiromi.uehara@accor.com

アコー予約サービス: 00531-61-6353 又は

03-4455-6404 (平日 9:00~18:00)

accorjapansales@accor.com





RAIL EUROPE
www.raileurope.jp

鉄道

RAIL EUROPE JAPAN

レイルヨーロッパ

出展者紹介

レイルヨーロッパは、フランス国鉄とスイス国鉄の出資により設立された公的法人で、日本国内でのプロモーションとマーケティングを担当しています。独自に開発した予約・発券オンラインシステム「ユーロネット」を提携する6社の販売総代理店（GSA）に設置し、鉄道パスをはじめ、区間乗車券、高速列車および寝台の座席指定券など幅広いヨーロッパ鉄道商品を取り扱っています。また日本において予約・発券することで、日本円での決済が可能。発券センターもあるため、日本語でのアフターサービスにも対応しています。

■安全と快適さを併せ持つフランスの鉄道：

TGVは現在、最高時速320kmで運行しており、急行列車等との組み合わせにより国内1500都市以上への訪問が可能です。フランス-スペイン高速列車は、2017年までに現行のバルセロナからマドリッドまで延伸されます。またそのほかにも続々と高速路線化が進むフランスは、TGV東線では、2016年に新線が開通し、パリ〜ストラスブール間が現在の2時間20分から1時間50分へ短縮。TGV アトランティック線でもトゥール〜ボルドー間で新線を建設中（2017年開通予定）で、パリ〜ボルドーが2時間55分から2時間5分、パリ〜トゥールが5時間1分から4時間10分になる予定です。さらにルマン〜レンヌ間でも2017年に開通予定の新

線を建設中で、こちらは所要時間2時間5分から1時間30分に短縮される予定です。今後のヨーロッパにおける鉄道の進展は、2007年7月にフランス国鉄を始めとするヨーロッパの国鉄およびユーロスターなどの高速列車の運営会社9社によって作られた、レイルチームという組織により、2025年までにヨーロッパ全域の中都市以上を所要時間3時間半程度的高速路線で結び計画があり、着実にそれに向かって進んでいます。

■フランス旅行に便利な商品：

フランス国鉄の列車に乗り放題*となるフランスレイルパスは、列車乗車だけでなくレストランや美術館、博物館、観光ツアーなどが割引き、または特別ギフトがもらえるボーナス特典を備えています。また、パリパスは、パリ市内を観光したい方向けのパスで、ルーブル美術館や、ヴェルサイユ宮殿、オルセー美術館など60の美術館、博物館の入場が無料になるほか、メトロ、バス、地下鉄（RER）、トラム、フランス国鉄（SNCF）の郊外列車などパリ市内すべての公共交通機関に乗り放題となります。その他、パリの中心地を巡るセーヌ川クルーズ バトー・ムッシュのチケットも販売しています。

* 高速列車、寝台列車など予約が必要な列車に関しては、別途座席予約が必要。



photos▼
写真すべて：@レイルヨーロッパ

プレス用取材のアイデア

■ プレス問い合わせ ■

Eri KAGAMI
加々美恵理
在日代表
kagami@raileurope.jp

フランスは、パリを中心に放射線状に鉄道網が広がり、列車を利用すればフランス国内はもちろん、近隣諸国にも簡単に足を延ばすことができます。

例えば、世界遺産モンサンミッシェルの最寄り駅レンヌまでは、高速列車TGVでパリから約2時間8分、フランス最大級のクリスマスマーケットが開かれることでも有名なアルザス地方にある都市ストラスブールへはTGVで約2時間17分で到着。最近注目のノルマンディー地方へもパリから約2時間でアクセスできます。またパリからは、国際線で様々な国に行くことができます。例えば、ブリュッセルへは高速列車タリスで約1時間22分、ロンドンへはユーロスターで約2時間15分、ジュ



ネーブへはTGVリリアで約3時間5分、フランクフルトへは、フランス・ドイツ高速列車で約3時間50分、バルセロナへはフランス-スペイン高速列車で約6時間25分です。列車を活用して魅力触れる様々な都市を訪れてみませんか？

■ お問い合わせ ■

RAIL EUROPE JAPAN
〒102-0085 東京都千代田区六番町5-5 飯田ビル2F
www.raileurope.jp（一般向け）

■ 担当者 ■

Eri KAGAMI
加々美恵理
在日代表
Tel：03-5212-1160
Fax：03-3288-9390
kagami@raileurope.jp





AIR FRANCE

エールフランス航空

AIRFRANCE 

出展者紹介

■成田、羽田、関空からヨーロッパへ。

エールフランス航空では、羽田空港、成田空港、関西空港よりパリへの直行便を運航いたしております。

羽田発の朝便、夜便は時間を有効にご利用いただきたい方にびったり

●羽田発朝便 07:35、パリ着 12:50のAF279の場合

パリにはお昼過ぎの到着なので、初日からパリを満喫いただけます。早速ショッピングもしくは美術館巡りの後にセーヌ川沿いで夜景を見ながらフルコースをお楽しみください。ミーティングや視察などのビジネスにも初日からアクティブに活動が可能です。

●羽田発夜便 22:50、パリ着 翌朝04:30のAF293の場合

お仕事を終えてからでも都心に近い羽田発なので十分間に合います。機内でぐっすり休んで、目が覚めたらもうそこはパリ。モンサンミッシェル等の朝一番のオプションツアーに参加ができます。また、ヨーロッパ各地へ午前中に到着が可能です。

成田発、関空発はゆったりとご出発されたい方にびったり

●成田発昼便 11:00、パリ着 16:25のAF275便、

●関空発昼便 10:55、パリ着 16:35のAF291便の場合

出発日に最後の支度をしてもあわてることなく空港へ。着いた当日はリフレッシュした後ゆっくりとディナーしながらリラックス。もちろん、パリ到着後、その日のうちに各地にお乗り継ぎも可能です。

■ラ・ブルミエール（ファーストクラス）、ビジネスクラスに本格的な和食を導入

エールフランス航空では、昨年7月より、ラ・ブルミエール（ファーストクラス）並びにビジネスクラスにおきまして、それまでメイン料理のみでチョイスが可能だった和食を、前菜を含めた本格的な和食メニューとして、提供を開始いたしました。

シャンパンやワインを和食に合わせてカブリングするのもお勧めです。和食の前菜、小鉢には牛肉や鴨、海老、昆布、野菜など、肉からサーモン、ホタテといった魚介、植物、海草など和食ならではの多種多様な素材が使われています。例えばシャンパンからスタートして白あるいはロゼ、軽めの赤と3種類をカブリングさせてお楽しみいただけます。メインディッシュの牛肉すき煮にはしっかりした赤を。そしてお魚のメインディッシュにはソーヴィニヨンの白、あるいはブルゴーニュの繊細な赤も意外な相性の良さに驚かれるでしょう。

ご注意いただきたいのは、ご出発の90日前から24時間前までにスペシャルミールとして、事前予約が必要という点です。機内でのチョイスにはございませんので是非ご出発前にお客様にお勧め下さい。もちろん無料です。

■お問い合わせ■

エールフランス航空

Tel : 03-3298-9598 (旅行会社サポートデスク)

営業時間: 9時30分~18時00分

土曜、日曜、祝祭日を除く

※個人のお客様からのお問い合わせは承れません

URL: 旅行会社専用サイト www.agentconnect.biz



photos▼

①、②: ファーストクラス

②: 和食メニュー ©AIR FRANCE